

農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業（中山間地域型）【遠別第2地区】

事業の概要

○目的

本地区は、「稲作（もち米）北限地」として稲作を主体に、小麦、大豆、ばれいしょ（食用）、かぼちゃ等を取り入れた複合経営や、畑作・酪農と多岐にわたる営農が展開されている。また、水稻基幹的水利施設や40a程度の区画成形を進め順次、条件不利地の整備を進めてきたが、未だ区画が狭小かつ不整形であったり排水不良のほ場が存在しており、用水路については、土水路のまま残されている区間が存在し、漏水や維持管理にも支障を来し担い手への農地集積の妨げにもなっている。

このため、本事業で農地の大区画化、暗渠排水や用水路整備を行うことにより、担い手への農地集積を図り、生産効率の高い競争力のある農業の実現を目指す。

○概要

・事業名：農業競争力強化農地整備事業

えんべつだいに

・地区名：遠別第2地区

・事業実施主体：北海道

・関係市町村：北海道天塩郡遠別町

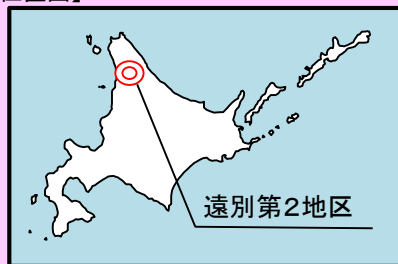
・事業工期：令和2～令和7年度

・受益面積：155.5ha

・総事業費：644百万円

・主要工事：区画整理 114.7ha
用水路 1,956m

【位置図】



- 未整備の土水路を整備することで、維持管理の省力化及び用水の安定供給を図る。また農地の大区画化・汎用化により、営農労力を節減し、余剰労力を創出し高収益作物導入や、地域での取り組みを強化する。
- 条件不利地の解消により、高収益作物への転換や品質の向上、農地集積を図る。

地区での取組や整備による効果



土水路を整備



維持管理の省力化！
用水の安定供給！！

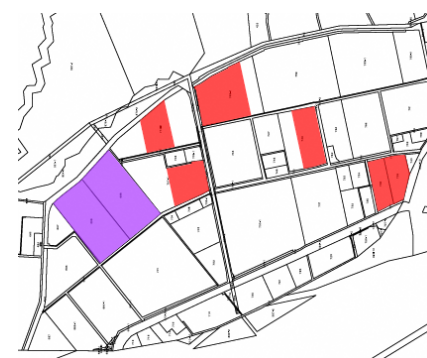


未整備ほ場
0.5ha～1ha未満
1ha以上



大区画化及び暗渠排水整備で農
作業効率向上！

↓
高収益作物への転換、品質向上
農地集積の促進



地域での取組

北限の水稻（もち米）
オロロン米はくちょうもち



JAオロロン女性部遠別支部花だんごサークル「花の里」で地域ブランドである「オロロン米はくちょうもち」を使った花だんごを製造しており、ふるさと納税などのギフトとして活用されている。

フレッシュ市場
花菜夢（かなむ）



遠別町道の駅「富士見」にて会員が生産した農産物や農産加工品の直売を行っている。
また、町内の学校給食センターへ野菜を供給し、地産地消、食農教育を実施している。